

北毛保健生協組合員現勢

2017年6月末現在
 組合員…………… 17,304人
 出資金…………… 7億518万円
 1人平均出資金…… 40,753円

組合員自身の力で組織を大きく強くしましょう!



発行所
北毛保健生活協同組合
 〒377-0005 渋川市有馬237-1
 TEL 0279-24-2141 FAX 0279-24-8873
 発行責任者 中澤 眞理
 編集責任者 ぐらしと医療編集委員会
 印刷所 上武印刷株式会社

日本を平和の道へ

「日本国憲法」をくらしに!!

機関紙編集委員会では、8月号の平和企画について、ただ「戦争体験を語り継ぐ」だけではなく、「平和とは何か」「日本は平和なのか」などを意見交換し、自分たちが「平和」についての考えをまとめてみることを決め、機関紙編集委員会による座談会を行うことになりました。

座談会は、テーマを「平和って何? 日本は平和だと思ってる人は6割弱」と報じた共同通信社ニュースのアンケートを参考にすすめました。次の項目から回答者

が思う「平和」とは何かを調査したもので、「世界中から紛争・戦争がなくなる」「治安が守られていること」「家族と平穏に暮らせること」「日常生活に暮

らいて何の心配なく暮らせること」「人間としての最低限の生活ができること」「貧困や飢餓がなくなること」「核が廃絶されること」「大きな災害が起こらないこと」「伝染病や病気がなくなること」を取り上げ、日本が平和だと思っている人は6割に満たないことを紹介しているものです。

座談会では、まず平和についての辞書の紹介がありました。「まず戦争や紛争がなく、世の中がおだやかな状態にあること」として「家庭の平和」等もあるということでした。戦争がなくなることで、治安が守られること、貧困が無いこと、これらを考えると日本国憲法との関係が大きいのではと意見が出されました。多くの国民が「生存権」を脅かされていることに注目。



7/15に組合員ホール1階で機関紙編集委員会による座談会
 左から佐藤(事務局)、宮下歌子理事(有馬)、生方次郎委員(小野上)、干明千代子委員(八木原)、柴田敏子委員(金島)、中澤勤編集委員長

福島原発事故の被害者の悲惨な実態、毎日の農作業や近所とのふれあい、何気ない日常が無くなったこと等をとりあげました。日常を

奪われた被害者への国の対応が無情であることも多く指摘されました。その中で先日、ある集会で、福島から避難した生徒がはじめに言ったことが話されました。全国ニュースになった横浜や新潟での原発避難者イジメが群馬県内でもあったのです。

南相馬市は全ての世帯に日本国憲法を冊子として配り、最初のページに「5年たった今も憲法で保障された健康で文化的な生活がかなえられていない市民が数多くいます。私たちの生活再建と安心して暮らせる環境を取り戻すため日本の憲法とは何かを考えて頂きたい」と書かれています。

ことと憲法が保障する生存権と南相馬市の深いつながり、憲法学者の鈴木安蔵の出身が旧小高町(現南相馬市)であることが紹介されました。昨今のテレビ報道での政治家の非常識な態度が出され、真実を知る力を身に



7/9に渋川・北群馬地域の網の目平和行進を行う。50人を超える方々が結集して「核兵器廃絶」を訴えました

付けないと騙されるので注意が必要と意見が出されました。多くの国民が

原発廃止を望んでいます。しかし、政府は原発の再稼働を進めています。そして、事故が起きた後の避難の問題ではたくさん矛盾があり放射線から逃げられません。原発の再稼働反対と廃炉に関する報道がされていません。日本は世界で唯一の「被爆国」である事の自覚が薄れて、放射線の怖さがわからない国民が増やされているのではないかと意見が出されました。国連の核兵器廃絶の条約に日本政府が参加していないことも大変遺憾に感じています。



7/14 国民平和行進渋川→前橋 半田旧道集会所で平和集会和古巻協議会による接待

また、日本国憲法を知らない人が多いと感じています。義務教育では、詳しく教えることはありません。だから、世の中が憲法に合わなくなったと錯覚をする人が多いと感じています。日本政府が憲法に近づく努力をしてこなかったのではないかと感じています。

南スーダン等に派遣されて帰還した自衛隊の自殺者が何人もいることは、マスコミでは報道されていない等、さまざまな実態と意見が出されました。

生存権が脅かされていることと真実を知ることの重要性、憲法がくらしに活かされていない実態を確認し合うことが出来ました。平和とは「戦争状態」でない事だけでは無く、自分自身と周りの人々の生活が「憲法25条」に適しているのかを確かめることが大切なのだと感じました。



群馬県レクリエーション協会
 や渋川市のスポーツ推進事業を長年にわたり活動しています。県レクリエーション協会では、ゲームや南京玉すだれなどを指導し、渋川市スポーツ推進では、軽スポーツなどを指導して来ました。今は、ゴルフ、グラウンドゴルフ、スボレック、スポーツ吹き矢などを指導しています。また、クラブ委員になりいろいろと指導など活動をしています。

市では、市民のスポーツを通じた健康づくりを推進し、市民のスポーツ活動を奨励するため、しぶかわスポーツクラブ(総合型スポーツクラブ)を5月17日に設立しています。特に、スポーツをしていない人やスポーツが苦手な人を対象とした多種多様なスポーツ教室等を開催しています。そして、スポーツクラブのスポーツドクターとして北毛病院の橋本院長がなり、心強いです。皆様も、スポーツクラブに入会して、いろいろなスポーツを楽しみましょう。(豊秋支部 S・O)

医療講座



あなたの行動が一人の命を救う

北毛病院 救急科 新里 祐太朗

皆さんは、人が倒れている時、手を差し伸べる事ができますか？

なかなか勇気がいりませんよね。「近づくと怖い」「対応方法がわからない」など。しかし、人を助けるのに必要なのは、助けようとする気持ちです(良いこと言った)。

今回は、心肺停止の傷病者を見つけた時の心肺蘇生法についてお話しします。

手順は①周囲の安全を確認、②人を集めることとAEDの要請、③呼吸を確認、④胸骨圧迫、⑤AEDの使用、です。

倒れている人を見つけたら、まずは「周囲の安全を確認」します。万が一危険な場所であった場合、自分も同じく危険な状態になる可能性がありますから注意しましょう。肩を叩いて大声で呼びかけ、意識がないことを確認したら、次にやることは「人を呼ぶ」です。一緒に救助できる人や救急車、AEDを持って来てもらいましょう。次は「呼吸の確認」です。胸や腹の動きを観察して、動きがなければ「呼吸なし」と判断します。「死戦期呼吸」というしゃくりあげるような不規則な呼吸が心停止直後の傷病者ではよく見られますが、それも「呼吸なし」の判断となります。ただ、医療者でない判断は難しいかと思えますので、迷った

ら「呼吸なし」と判断してください！ お願いします！ そして、すぐさま胸骨圧迫に移ります。これが心配蘇生の要です。ポイント、胸骨下半分に手の根元を添え、両肘をまっすぐ伸ばして体重が垂直にかかる姿勢をとります。1分間に100〜120回程度の速度で、深さは約5センチ程度、中断時間は短く行います。「強く」「速く」「絶え間なく」行いましょう！ 人工呼吸に関しては、胸骨圧迫が30回に対して人工呼吸2回の組み合わせで行いますが、「人工呼吸の技術と意思があれば行う」となっており、不安であればやらなくても構いません。大事な

のは胸骨圧迫をしつかりやることです!! AEDが到着したら、機械の指示に従って解析、ショックを行ってもらいます。AEDが全て誘導してくれるので素直に従ってください。AEDの解析もしくはショックが終わったら、また直ちに胸骨圧迫しましょう。これらを繰り返して、救急隊が到着もしくは普段の呼吸や目的のある動作ができるようになれば胸骨圧迫は中止となります。

以上が、心肺停止の傷病者を見つけた際の対応です。あなたの行動が、一つの命を救うことになり得るので、是非と覚えておいてください。

支部紹介⑥

小野上支部

小野上支部は、世帯数590戸(人口1,803人)組合員は447人、出資金は、1人平均51,289円です。世帯比率が7・5割を超えているので一戸の家で何人でも加入してもらえよう勧められています。人間ドックやせいきょう健康チェック等組合員になればいろいろの特典があること

を説明し仲間ふやしに力を入れていきます。昨年初めて開いた子ども班会は好評で、今年も「ブルーベリー摘み」&「流しソーメン」をセットで準備をすすめています。映画班会では、「ほたる」「おかあさんの木」を鑑賞して多くの組合員を集めました。日帰り旅行も評判が良く、昨

年は「たくみの里と遊神館」へ、温泉と美味しい昼食を楽しみました。最も大きな特徴点は、高齢で家からなかなか外に出られない組合員のお宅で班会を開くこと(小さな班会)と呼んでいます。各地で取り組んでいきます。

組合員の要望に応えられるよう支部が一つ

初開催の子ども班会

最大のポイント

昨年の支部旅行「たくみの里」



初開催の子ども班会

昨年の支部旅行「たくみの里」

北毛保健生協外来医師診療表(2017年8月～) [一は休診]

Table with columns for Hospital (北毛病院) and Clinic (北毛診療所), and rows for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土). It lists various medical departments and the attending physicians for each.

受付時間 午前(AM8:30~12:00)、午後(PM1:00~5:00)、夜間(診療科・専門外来により異なります。)
診療時間 午前(AM9:00~)、午後(PM2:00~)、夜間(診療科・専門外来により異なります。)
(注) 内科 午前診療は予約優先となります。急病での来院時には看護師にお声掛けください。
外科 火曜日午前外来はAM11:30受付終了となります。
小児科 夜間外来はPM4:30受付開始となります。
精神科 予約診療となります。初診での診療希望時にはお電話にてお問い合わせください。

みんなの 女場

職員募集

医師	常勤・パート
看護師	夜勤可能な方歓迎
薬剤師	常勤・パート
ヘルパー	登録
事務	常勤(経理経験者)
事務	パート
看護助手	常勤・パート
介護福祉士(病院)	常勤

ご連絡の上、履歴書をお送りください。
(連絡先)
茨川市有馬237-1
北毛保健生活協同組合
総務部 鈴木まで
TEL 0279-24-1234

老健ほくもう祭り

日程：2017年9月10日(日)
時間：午前10時～午後1時
場所：老健ほくもう駐車場 通所リハビリホール内

◆日ごろの感謝の気持ちを込めて・・・

「懐かしいあの頃の祭り、懐かしの遊び」でみんなで楽しい夏の思い出を作りましょう！

祭り会場では、出店やイベントが盛りだくさん。入所者ご家族、他みなさまのご来場をお待ちしております。

詳細・連絡先：老健ほくもう祭り実行委員 宮澤・保坂
TEL：0279-60-5550

私も配ってます

●配布者さん紹介●

子持支部

諸田 芳子さん

10年前、近所の人から引き継いで、現在14部を配っています。配布先で「こんにちは」と声をかけると、



そこから世間話に花が咲き、話し込むこともたびたび。配布中に見知らぬ人から声をかけられ、そこからもおしゃべりが始まります。これがまた、楽しいです。

活動報告



▲6/25 吉岡支部合同わくわく班会 ラベンダースティック作り



▲7/13 北橋合同班 体組成計と熱中症と食中毒の学習



▲7/18 榛東お楽しみ班会 赤城山覚満淵をウォーキングとお買いもの

▼6/26 上有馬神戸班 塩分チェック



▲6/27 溝呂木班 熱中症について学習



▶7/3 中川島班 ラベンダースティック作り



▲7/10 分郷八崎班 ご当地体操と熱中症について学習



▲6/23 金島支部 2016年に加入された4人をむかえ、昼食交流と施設見学をしました



▲7/20 7月の教育文化委員会講師養成講座は、「藍染め教室」



▲7/20 豊秋手川班 牛乳パックで組合員文化作品展の作品づくり



▲7/18 豊秋合同 陽なた見学、京都弁でラジオ体操



▲7/8 病棟の七夕集会で職員と看護奨学生がハンドベルを披露

▶7/19 市街地支部 新総代さんをむかえ、役割の話と交流をしました。



▲7/3 豊秋西浦班 原水禁世界大会に向けた折鶴づくり